

# PRESS RELEASE

2023年12月15日

四国まちづくり&おもてなしプランニング

(参加企業五十音順) 阿波銀行

伊予銀行

サンケイビル

四国銀行

四国電力

四国旅客鉄道

竹中工務店

日本政策投資銀行

百十四銀行

## 高松・直島へのマンダリン オリエンタル ホテルグループの進出について

～「マンダリン オリエンタル 瀬戸内」が 2027 年夏に開業予定～

四国まちづくり&おもてなしプランニングは、マンダリン オリエンタル ホテルグループ（以下、「MOHG」）と協業し、「マンダリン オリエンタル 瀬戸内」を 2027 年夏に開業することといたしましたので、お知らせいたします。

「マンダリン オリエンタル 瀬戸内」は、高松市（サンポート B2 街区）と直島町（本村地区）の両地域の特長を活かした施設づくりおよび運営を行うことで、同ホテルを拠点に四国・瀬戸内の魅力を体験しながら旅をする、エリア周遊型観光を促します。こうしたエリア周遊型の最高級ホテルは国内では初、海外でも稀なコンセプトです。MOHG にとっては東京に続き、国内 2 軒目の進出となります。



マンダリン オリエンタル 瀬戸内－高松



マンダリン オリエンタル 瀬戸内－直島

### ■ マンダリン オリエンタル 瀬戸内－高松

高松駅や高松港が近接する「サンポート B2 街区」は交通のターミナルであり、四国地域の観光の出発地として最適な要所です。同ホテルは、美しい瀬戸内海の眺望を確保し、サンポート高松の景観と調和したシンボリックな都市型ホテルです。地域の国際的ステータスを高め、瀬戸内・四国の魅力を持続的に発展させる拠点を目指します。

■ マンダリン オリエンタル 瀬戸内－直島

現代アートの聖地として知られている直島の「本村地区」には、焼杉を外壁とした伝統的なまち並みが残っています。同ホテルは、メイン棟と離れ 3 棟がまちに溶け込む形で点在し、直島の暮らしが体験できる古民家風ホテルです。メイン棟「おおみやけ（屋号※）」には登録有形文化財である母屋・長屋門があり、これらを維持・改修することで直島の歴史・文化を次世代に繋げます。

※島内で呼び習わされてきた旧家の名称であり、同ホテルでも屋号を引き継ぐこととしています。

■ 施設概要

施設名	マンダリン オリエンタル 瀬戸内	
	高松	直島
建物概要	階数：地上 13 階 地下 1 階 敷地面積：約 5,000 m <sup>2</sup> 延床面積：約 18,500 m <sup>2</sup>	メイン棟（地上 2 階建）、離れ 3 棟  敷地面積：約 5,800 m <sup>2</sup> 延床面積：約 3,900 m <sup>2</sup>
客室数	92 室	22 室
付帯施設	レストラン、バー、スパ、ジム、 プール、会議室	レストラン、バー、スパ、ジム
開業時期	2027 年夏（予定）	

■ 事業体制

事業主体 （ホテルの所有）	合同会社四国まちづくり&おもてなしプランニング（略称：SMOP） 参画企業：阿波銀行、伊予銀行、サンケイビル、四国銀行、四国電力、 四国旅客鉄道、竹中工務店、日本政策投資銀行、百十四銀行  〔五十音順〕
ホテルオペレーター （運営委託先）	マンダリン オリエンタル ホテルグループ
設計	山下設計・竹中工務店
デザイン	デザインスタジオ・スピン
プロジェクトマネジメント	ヴィータイタリア

〔参考〕マンダリン オリエンタル ホテルグループについて

マンダリン オリエンタル ホテルグループは、世界有数の最高級ホテル、レジデンスを展開し、数々の権威ある賞を受賞。マンダリン オリエンタル 東京では、米国の格付け会社「フォーブス・トラベルガイド」から 9 年連続最高評価の 5 つ星を獲得している。

アジアをルーツに世界的なブランドへと成長を続け、現在 25 개국・地域において同グループの東洋の伝統、立地する地域の文化、ユニークなデザインを反映させた 38 のホテル、10 のレジデンスを運営し、今後もホテルおよびレジデンスの開発を計画。同グループは、ジャーデン・マセソン・グループの傘下に属している。

以上